

No	事業名	団体名	事業内容	事業費 (円)	うち 支援金額 (円)	講評
1	大町で体験する健康食育事業	大町市	市民の健康に対する意識等を高め健康行動の実践につなげるため、市内飲食店、ボランティア団体等と連携しスタンプラリーや食育啓発を実施する。 ①健康食育事業(事業費603千円)	602,503	451,000	バランスごはんスタンプラリーを実施し、健康に配慮したメニューを提供する飲食店の拡大を図り、住民への健康メニューPRを実施しました。 ライフステージ(乳幼児～高齢者)に応じた食育・栄養啓発を実施し、住民が日ごろの食生活を考える機会を設けました。 今後も継続して食育・栄養啓発を行うことにより、個人の健康意識向上につながる取組となることを期待します。
2	シェアサイクルによる北アルプス広域観光推進事業	大町市観光協会	自転車を軸とした広域観光を発展させ地域に定着させることを目的に、モデルとなるシェアサイクル拠点整備を実施する。 ①拠点整備レンタル備品、広報費(事業費398千円) ②e-バイク(事業費1,311千円)	1,708,150	1,197,000	木崎湖畔に新たなシェアサイクル拠点を整備し、大町市内における自転車周遊型観光の体制を強化しました。 今後、より多くのサイクリストに選ばれる地域となるよう、北アルプスの景観などの地域資源を生かし、地域全体のサイクルツーリズム推進につながる取組の継続を期待します。
3	大町市農産物等輸出促進事業	大町市農産物等輸出協議会	新型コロナの影響により米及び日本酒の消費量が減少し市内関係業者が苦境に立たされているため、海外へ販路拡大を目的に、輸出セミナーの開催、香港でのPRキャンペーン、事業者との意見交換会を実施する。 ①海外PR事業費(479千円)、セミナー開催費(89千円)	566,956	453,000	香港をターゲットに大町市の米を中心とした農産物、加工品の販売やPRを、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行った上で実施しました。 また、輸出への理解促進を図るため、生産者等を対象にしたセミナーを開催しました。 今後もより安定した農業経営に向け、海外における販路拡大の取組を期待します。
4	コロナに負けない信濃大町食のおもてなし事業	信濃大町の食おいしいプロジェクト実行委員会	国際芸術祭の協働事業として、地元の食材を活用した大町らしい特色ある弁当を開発し、魅力ある食を提供する。また、予約販売の仕組みづくりを整備し、食品ロス削減を図る。 ①メニュー開発費(1,281千円)、予約販売システム開発等(1,245千円)	2,525,880	1,877,000	市内飲食店に参加を募り、大町の特徴を盛り込んだオリジナル弁当を開発しました。 また、今後の大規模イベントを見据えて、弁当を一元的に予約・販売するシステムを試行しました。 今回の結果を検証し、特色ある弁当がより多くの人々の購入につながる形となることを期待します。
5	北アルプス山麓夜の景観資源開発プロジェクト	NPO地域づくり工房	北アルプス山麓の景観や既存施設を活用しデジタル掛け軸を実施することで、夜間の観光資源による滞在型観光の振興、地域おこしにつなげる。 ①講師謝金・交通費、プロジェクター等借料(2,131千円)、管理運営費(53千円)	2,182,978	1,571,000	デジタル掛け軸の実演という斬新なイベントを開催し、また、その担い手となる人材育成を行い、北アルプス地域に新たな夜の観光資源を開発する取組が行われました。 インパクトのあるイベントとして定着し、「夜の観光資源」として地域に認知が広がり、地域活性化につながることを期待します。
6	ものづくり人材育成地域連携推進事業	池田町	学校と地域や企業及び他校との交流の橋渡しや調整、小学・中学・高校生による地元企業での体験・研修を通じてものづくり産業における次世代の担い手確保、地域を支える人材の育成を図る。 ①コーディネーター活動報酬費、講師謝礼(907千円)	906,400	675,000	配置したコーディネーターが企業を訪問し、研修や就職受入の交渉を行いました。 また、町内のIT教育専門学校と連携し、生徒の専門性を高めるための研修会を実施しました。 今後、取組を継続することで地域のものづくりを支える人材の育成・確保につながることを期待します。
7	桑のふるさと再生プロジェクト	桑ひろつ	「桑生産の担い手」と「桑葉生産量の不足」という課題を解決するため、遊休桑園の整備や植樹イベントなどを実施する。 ①重機機材借上、燃料代、桑苗、エルダー苗、緑肥(825千円) ②電気柵資材費(467千円)	1,290,798	1,008,000	地域住民を巻き込みながら桑畑の整備を行うとともに、大学生のボランティアの協力も得ながら、桑を次世代へつなげるための取組を行いました。 美しい桑畑の景観の回復と、北アルプス山麓ブランド品「桑茶」を中心とした加工品の需要と生産の拡大が次世代へと受け継がれていくことを期待します。
8	池田町由来の酒類とコース料理を愉しむイベント	池田町観光推進本部	池田町由来の酒類とコース料理を愉しむイベントを開催し、国際芸術祭との協働により北アルプス地域を活性化させるとともに池田のブランド力向上を目指す。 ①広告宣伝、会場費用、参加者送迎、メニュー作成、コロナ対策(1,910千円) ②ガーデンテーブル(事業費426千円)	2,335,295	1,440,000	池田町の日本酒やワインの販路拡大や町のブランド力向上のため、コース料理とともに酒類を提供するイベントを開催しました。開催にあたっては新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しました。 今後、イベントを継続していくことで酒類のファンがさらに増え、地域の魅力が向上することを期待します。

9	「Alps Sake&Herb Plus+」日本酒&ハーブカクテル推進ブランディング事業	「Alps Plus+」ブランディング事務局	日本酒とハーブを使ったカクテルの商品化を行い、池田町のPRにつなげる。 ①カクテル商品化、マーケティング、PR映像費用(1,358千円)	1,358,000	1,062,000	池田町の日本酒と町の特産品であるハーブを使ったオリジナル日本酒カクテル振興のため、商品を製作したほか、販売促進に向けて、カクテルの作り方の動画を制作しました。 北アルプス全域で日本酒ハーブカクテルが取り扱われ、北アルプスの特産品や地産地消のブランディング事業として発展していくことを期待します。
10	「北アルプス安曇野ワインバレー」ブランド化推進～SNSを活用した情報発信と試飲会in銀座NAGANO～	北アルプスワインぶどう研究会	特産であるワインの販売量を増やすため、SNSを活用してワインの魅力を発信するとともに、銀座NAGANOを活用して試飲会を開催し、「北アルプス安曇野ワインバレー」のブランド化を推進する。 ①SNS活用事業、オンラインワインイベント(事業費460千円)	460,000	368,000	北アルプス地域安曇野ワインバレーの魅力発信のため、動画を制作しました。 動画はSNSで発信するとともに、オンラインワインイベントにも活用しました。 今後も取組を継続することで、ワインバレーのブランド化をさらに推進するとともに、ワインを通じて北アルプス地域の魅力度アップにつながることを期待します。
11	教育、文化の振興事業	池田町商工会	在留外国人が日本文化を学び、日本語能力を向上させるため、日本語教室を実施する。 ①学習業務委託、成果発表時費用、教材費(事業費3,522千円)	3,522,000	2,817,000	地域で暮らす外国人を対象に、日本語講座を開催し、日本語国家資格の取得を目指しました。 地域で働く外国人の日本語レベルが向上し、日本社会のルールを理解して多くの方が地域に定着されることを期待します。
12	花とハーブの里のにんにく加工品開発プロジェクト	花とハーブの里のにんにく生産組合	北アルプス山麓の新たな特産品として、にんにくの商品開発、販売体制の確立に取り組み、加工にんにくのブランド化を推進する。 ①広告宣伝費、保冷庫借料、試作品製造、試作品分析、交通費、送料(事業費1,033千円)	1,032,896	826,000	北アルプス山麓の新たな特産品となることを目指し、一次加工品の販売体制を構築したほか、二次加工品を開発しました。 生産・加工技術の向上を図り、商品販路の確立や情報発信に取り組み、加工にんにくのブランド化が進むことを期待します。
13	白馬村宿泊産業イノベーション研修実践事業	白馬村	競争力のある宿泊施設を維持・創出することを目的に、村内の宿泊施設経営者等に対して宿泊産業イノベーション研修を実施する。 ①研修会開催費(4,477千円)	4,477,000	3,340,000	宿泊施設経営者等を対象に講習、グループワークを実施しました。これにより個々の経営力、サービスの質の向上につながりました。 また、宿泊施設同士の横の繋がりを強化することによって地域全体の宿泊産業の向上に向けた機運が高められました。 今後も取組を継続することで、地域全体の宿泊産業の経営力や魅力向上につながることを期待します。
14	白馬五竜を美しく彩る「白馬五竜ボタニカルプロジェクト」	白馬五竜観光協会	白馬五竜エリアを植栽により美しく彩り、美観形成や観光客の満足度向上を目指す。 ①アジサイ植栽(909千円)	908,380	726,000	地域の景観を向上させるためアジサイを道路沿いに植栽しました。 事業を継続していくことで長距離のフラワーロードが形成され、グリーンシーズンの白馬の新たな名所となることを期待します。
15	白馬創業者支援事業	白馬創業塾サポート協議会	官民一体となった支援で創業者をサポートし、地域の創生を図ることを目的として、創業情報誌を作成する。 ①創業情報誌作成(556千円)	555,280	444,000	創業者を紹介する冊子を作成することで、創業者同士の連帯感を高め、新たな事業連携を生み出す機会を創出するとともに、創業希望者の創業に向けての参考となりました。 新たな創業者の増加と事業の長期継続に向け、さらなるサポート体制の強化を期待します。
16	パラスポーツ体験学習会の実施	一般社団法人白馬スポーツ・自然振興協会	パラスポーツの普及啓発と白馬圏域を障がい者スポーツのメッカとすることを目的に体験会の実施する。 ①体験会(627千円) ②競技用車いす購入(850千円)	1,477,000	1,036,000	競技用車いすを使用し、障がい者、健常者が同じ条件でテニスやバスケットボール等をゲーム形式で行う体験会を開催しました。 体験会をきっかけに、障がい者と健常者の相互理解が深まることで、共生社会のさらなる推進に期待します。
17	八方地区花の道事業	八方区	八方根スキー場を中心とした八方地区の魅力向上のため、HAKUBAVALLEYデザインコードを用いた街路灯の整備、街並みの美観形成、誘客のためのイベントを行う。 ①フラワーバスケット、ベンチ制作(463千円) ②街路灯設置(6,762千円)	7,223,623	5,000,000	インバウンド集客に焦点をあて、花があふれる夏場の綺麗な街並みを目標に地域住民と協働して、花の植栽作業を行いました。 併せて、街並みに合った街路灯を新たに設置しました。 整備した街並みを活用したイベントを定期的実施することにより、特にグリーンシーズンの長期滞在型の観光誘客につながることを期待します。

18	新型コロナウイルス影響下における地域経済の支援事業	白馬商工会	<p>新型コロナウイルスにより大きな打撃を受けた観光産業の活性化を目的に、アフターコロナにおける白馬山麓観光業の在り方等を検討する会議を開催し、提言書をまとめる。</p> <p>①検討委員会開催(851千円)、提言書作成(541千円)</p>	1,391,310	1,072,000	<p>アフターコロナを見据えた白馬村観光のあり方についての検討会を実施するとともに、専門家や研究機関を交え、事業継続のアイデアや補助金活用事例等を紹介する提言書を作成し、観光事業者向けに配布しました。提言書や検討会での意見交換を基に、事業継続に向けた取組がなされることを期待します。</p>
19	”音楽の風を白馬に”ロビーコンサート推進事業	Hakuba Music Support Association	<p>ロビーコンサートの開催により生の演奏に直に触れる機会を提供し、白馬村の地域振興に資することを目指す。</p> <p>①ロビーコンサート(1,266千円)</p>	1,265,982	868,000	<p>「NAGANO国際音楽祭 In 白馬」に加え、屋外コンサートを開催し、白馬村民をはじめ、多くの方々に良質な音楽を鑑賞してもらう機会を設け、音楽や芸術に対する教養の資質向上に貢献しました。</p> <p>他団体との連携、協働を持続させつつ、収益性のある演奏会の実施や賛同者の協力体制を確立することにより事業を自立化し、クラシック音楽の魅力を広く伝える活動が展開されることを期待します。</p>
20	新型コロナ感染症受診支援搬送サービス事業	白馬・小谷新型コロナ受診支援対策協議会	<p>新型コロナに感染の疑いのある観光客を指定医療機関まで搬送できる体制を構築することで、安心感のある観光地づくりを目指す。</p> <p>①搬送費(5,985千円)</p>	5,984,880	4,787,000	<p>新型コロナ感染の疑いがあるが自身での移動手段を持たない観光客の受診支援のための搬送体制を構築しました。</p> <p>新型コロナ感染症が収束しない状況下において、今後も事業を継続するとともに、移動手段を持たない住民(高齢者等)に対しても利用範囲を拡大する等の対応を期待します。</p>
21	子供たちが安心して走れるMTBトレイル整備事業	八方尾根観光協会	<p>子どもや初心者が安心して楽しめるトレイルコースの整備や体験会の実施により、MTBの普及と観光振興につなげる。</p> <p>①コース造成用具(37千円)、コース造成指導(2,001千円)、コース管理アドバイザー(61千円) ②案内看板(615千円)</p>	2,712,837	2,139,000	<p>地域住民の協力のもと、八方尾根スキー場咲花ゲレンデから細野諏訪神社まで、子供たちも安心して走れるMTBトレイルコースを造成しました。</p> <p>また、コースのプロモーションムービーを作成し、SNSで広く周知を行いました。</p> <p>今後、モデルコースやツアーの一部として、本コースの利用促進を図るとともに、コースの拡張を行うことで、北アルプス地域のさらなるサイクルツーリズム推進につながる取組となることを期待します。</p>
22	白馬ラン&サイクルスタンプラリー	白馬ラン&サイクルスタンプラリー実行委員会	<p>グリーンシーズンの観光振興のため自転車スタンプラリーイベント開催する。</p> <p>①イベント開催・告知(1,272千円)</p>	1,271,801	1,012,000	<p>白馬村のサイクリングロード「白馬小径」を活用したランニングとサイクリングによるスタンプラリーを実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、チェックポイントのスタンプはQRコードを読み取るデジタル形式としました。</p> <p>引き続き、地域を訪れる動機を生み出す取組を期待します。</p>
23	北アルプスエリアに存在する氷河の観光資源化に向けた広域連携事業	一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM	<p>存在価値が認知されていない氷河を白馬の観光資源としての活用するために、戦略策定や試験的なコンテンツ開発を行う。</p> <p>①観光活用に向けた検討(1,102千円)、潜在氷河の可能性調査(5,125千円)</p>	6,226,100	4,150,000	<p>氷河の可能性調査を進め、令和4年度中の認定に向けた資料を作成しました。</p> <p>氷河認定された後の観光資源化に向け、関係者による検討会を開催するとともに、環境問題の一環として地元の小学生を対象とした勉強会を開催しました。</p> <p>今後、氷河が地域の観光コンテンツとなることに加え、環境問題を学ぶ題材に発展することを期待します。</p>
24	安曇野アートラインガイドブック作成と学校での出張美術館開催	安曇野アートライン推進協議会	<p>地域の資源を生かしたガイドブックの作成と学校で優れた芸術作品に触れる機会を創出することで、地域の教育・文化の振興に資することを目指す。</p> <p>①ガイドブック作成(646千円)、出張美術館(371千円)</p>	1,015,732	761,000	<p>協議会に加盟している17施設の概要や見どころをまとめたガイドブックを作成し、配布しました。</p> <p>また、白馬中学校に加盟施設の美術品を集め、出張美術館を開催し、多くの生徒が鑑賞し、芸術に対する教養の資質向上に貢献しました。</p> <p>引き続き、地元住民が美術館を身近に感じることができる取組を期待します。</p>
25	インクルーシブ野外教育推進事業	白馬ユニバーサルフィールド実行委員会	<p>障がいをもった生徒が野外学習に参加できるよう、体験会の開催、受入れ体制の整備を行う。</p> <p>②アウトドア用車椅子製作費(事業費1,217千円)</p>	1,216,436	706,000	<p>障がいのある方でもアウトドアを楽しめるようアウトドア車いすの開発・製作を行いました。</p> <p>今後、車いす乗車体験会を開催するなど、誰でも安心して楽しめる観光地づくりの推進につながる取組となることを期待します。</p>
26	震災アーカイブを活用した村民の自立的学びと語り継ぎの仕組みづくり事業	信州大学教育学部廣内研究室	<p>神城断層地震のデジタルアーカイブを活用して学校教育やフィールドワークを実施し、地域住民の防災意識の向上を図る。</p> <p>①震災アーカイブ活用事業(1,206千円)</p>	1,205,178	926,000	<p>これまで整備してきた神城断層地震震災アーカイブを活用することで、地元小中学生の主体的な学びや活動を創出しました。</p> <p>また、アーカイブサポーター養成講座を実施することで、震災の語り手の育成、地域人材の掘り起こしを行いました。</p> <p>今後も取組を継続することで、地域住民の防災意識向上につながることを期待します。</p>

27	北安曇支部管内商工会地域のデジタル研修事業	長野県商工会連合会北安曇支部	<p>商工業者がDXに対応するため、研修会を開催する。</p> <p>①研修費、特別指導費、テキスト代(事業費1,507千円)</p>	1,507,000	1,205,000	<p>小規模事業者を対象にスマートフォン・パソコン講座をそれぞれ実施しました。</p> <p>各事業者が業務のデジタル化や各種オンライン申請に対応できるようになることを期待します。</p>
28	小谷村みんなの庭プロジェクト	小谷村	<p>現在建設中の指定避難所(福祉避難所を兼ねる)となる複合拠点施設の敷地内に屋外避難所スペースとして庭の造成、避難用品の整備を行う。</p> <p>①キャンプ場備品購入費(506千円) ②ルーフレット作成費(38千円)</p>	543,950	435,000	<p>災害時の避難体制構築のため防災テント等を整備しました。実際にテントを活用し、疑似避難体験を実施しました。</p> <p>避難体験を通じ、住民の防災意識の向上や避難所を身近に感じ利用しやすくすることを期待します。</p>
29	北アルプス地域の薬用植物活用実践事業	香 KOH. Lab	<p>薬用植物を活用した観光客向けイベントや薬膳メニューの開発により、新たな観光事業の展開を目指す。</p> <p>①樹木代等(154千円)、広告宣伝(296千円) ②蒸留器ほか(712千円)</p>	1,161,318	892,000	<p>地域の里山に自生するクロモジやニオイコブシといった芳香植物に着目し、それらを蒸留し新たな特産品を開発しました。</p> <p>また、地域内外から参加者を募り、蒸留体験イベントを実施しました。</p> <p>開発した商品の販路拡大を進め、地域の特産物として定着することを期待します。</p>
30	おたりの魔女プロジェクト	おたりの魔女	<p>地域資源を活かした新たな雇用の場を生み出すことを目的に、小谷村内の野山で採取することができる草木を活かした新たな特産品を開発する。</p> <p>①商品開発用消耗品費(257千円)、販売促進用消耗品費(283千円)、先進地視察体験費用(7千円)</p>	546,670	330,000	<p>小谷村内の野山で採取できる草木を活用し、野草茶やジャム等、約20種類の商品を開発し、村内外イベントやインターネット等で幅広く販売しました。</p> <p>また、商品の生産・販売に際し、従業員を雇い入れるなど雇用を創出しました。</p> <p>今後も継続した雇用を生み出せるよう、新商品の開発や販売機会を拡大し、持続可能な取組となることを期待します。</p>
31	小谷村伊折地区の新地域特産物のブランド化推進事業	伊折農業生産組合	<p>高齢化する農山村の維持と魅力づくりのため、地域住民が協働でエディブルフラワー等の新たな農産物の栽培を行う。</p> <p>①苗・肥料代(298千円)、講座講師謝礼等(105千円)、広告宣伝(39千円) ②乾燥器ほか(512千円)</p>	952,155	735,000	<p>地域内外住民やボランティアと協力し、省力化可能な新たな農作物の栽培を行いました。</p> <p>また、農作物の収穫体験や試作加工品の販売等を行い、ブランド化のための取組を推進しました。</p> <p>今後も取組を継続することで、さらなるブランド化を進めるとともに、高齢化や短時間労働にも対応した省力的な農業モデルが構築されることを期待します。</p>
32	北アルプス山麓育ち 台湾プロモーション事業	「北アルプス山麓育ちin首都圏」実行委員会	<p>北アルプス地域へのインバウンドを含めた観光誘客を促進するため、台湾において体験型旅行等のプロモーション活動を実施する。</p> <p>①海外プロモーション費用(755千円)</p>	754,810	603,000	<p>昨年度に引き続き、台湾を海外プロモーションのメインターゲットとし、現地関係者向けに北アルプス地域の観光素材を紹介するWEBマガジンを発行しました。</p> <p>また、北アルプス山麓ブランドのホームページに台湾語翻訳機能を追加するとともに、現地の日本食スーパー「裕毛屋」においてPR動画を放映するなど当地域の魅力を発信しました。</p> <p>今後も市町村と連携し、当地域の魅力を広く発信し、地域の活性化につながる取組となることを期待します。</p>
33	北アルプス山麓ブランド活性化推進事業	北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会	<p>北アルプス山麓ブランド品の海外展開や認知度の向上を図るため、台湾における物産展の開催やPR活動等を実施する。</p> <p>①広報活動費用(984千円)、認定品活用推進費用等(436千円)</p>	1,419,015	1,135,000	<p>北アルプス山麓ブランド品の海外展開として、台湾日本食スーパー「裕毛屋」とWEB商談会を実施しました。</p> <p>また、北アルプス山麓地域で生産される農畜産物等のブランディングや認知度向上の取組、コロナ禍に対応したオリジナル弁当の開発等を行いました。</p> <p>関係団体と連携して当地域の農畜産物等の魅力を広く発信し、ブランド品としてさらなる認知度向上と販売拡大につながることを期待します。</p>